# 松井かずみ後援会会報

平成30年1月発行

# 平成29年度の「松井かずみ後援会」活動

「松井かずみを囲む会(勉強会)」の開催 松井かずみ後援会では、29年7月、11月の2回にわたり「松井かずみを囲む会(勉強会)」を開催しました。

# 平成29年11月の「松井かずみを囲む会(勉強会)」



■平岡後援会長の開会挨拶



■講演風景

11月25日(土)、広島東洋カープ、セ・リーグ連覇の街頭パレードが開催された日の午後より、本年度二回目となる「松井かずみを囲む会(勉強会)」が開催されました。

今回の松井市長を講師とする勉強会のテーマは「目指すべき「まち」の今」で、副題として「この6年間を振り返って」、となっていました。

松井市長は、市長就任後の6年間で、実現 してきたこと、今後実現したいことについて 1時間以上にわたって熱弁をふるいました。

(講演内容の概要については3面に掲載) 長時間にわたる講演でしたが、出席された 皆さんは、メモをとる、スクリーンに見入る 等、熱心に聞いていただきました。

市長講演後、会場を移して懇親会(情報交換会)を開催しました。「松井さんを支える会」副会長の仁田一郎様のご発声による乾杯で懇親会を開始し、松井市長も全テーブルを廻り、講演内容の補足説明や情報交換等に努め、和やかな雰囲気で懇親会が進行しました。



市長講演■



支える会 仁田副会長乾杯ご発声■

# 平成29年7月の「松井かずみを囲む会(勉強会)」



■勉強会標題

7月8日(土)、本年度第一回となる「松井かずみを囲む会(勉強会)」が開催されました。今回の勉強会のテーマは「平和への思いを共有するために」で、副題は「平和首長会議の活動をとおして」として松井市長が講師を勤めました。

講演では、世界7,400にせまる都市が加盟 する平和首長会議の活動や、本行事開催前日 に国連で採択された核兵器禁止条約成立の経 緯等について語られました。



支える会 神出会長乾杯ご発声■

# 平成29年度「松井さんを支える会」の活動

地元経済界の方々で組織されている「松井さんを支える会」では、5/21に総会を開催。9/1には「海から広島を語ろう会」の行事を開催されました。本行事は瀬戸内海クルーズ船「銀河」をチャーターして乗船、夕暮れの瀬戸内海をクルーズしながら「海から見た広島」をテーマに、広島の将来、夢そして課題を語り合うという会でした。

これらの行事には松井市長夫妻をはじめ、「松井かずみ後援会」役員を中心としたメンバーとともに参加し「松井さんを支える会」会員との交流を図り、共に松井一實市長を応援する団体として、より連携を強める活動ができました。





# 平成29年度、松井市長の平和や核兵器廃絶にかかる対外的活動について

平成29年は平和や核兵器廃絶に大きな動きがありました。平成28年のオバマ米国大統領来広の影響もあり、海外 から多くの政治指導者や観光客が広島を訪れ、被爆の実相や平和への思いを共有してもらうこととなりました。ま た、国連においては、核兵器禁止条約が成立し、さらにはICAN(核兵器廃絶国際キヤンペーン)がノーベル平和賞 を受賞するなど核兵器廃絶に向けて大きな成果が表れました。これらのことは平和への思いの世界的な広がりが あったからこその成果と言えます。

以下、平成29年中に松井市長が関与した平和や核兵器廃絶にかかる対外的な活動について、何点か掲載して います。



■国連会議場

# 第9回 平和背景会議舞会

■会議風景



■ローマ法王に広島訪問の要請

# 1. 国連における核兵器禁止条約制定前の国連演説

29年6月に松井市長は、米国・ニュ・ ヨーク市の国連本部で開催された核 兵器禁止条約の第2回交渉会議に 出席し、被爆地の市長として、また平 和首長会議の会長として、存命のうち に核兵器の法的禁止を見届けたいと の被爆者の願いを踏まえ、各国の為 政者が対立の中ではなく、建設的で オープンな議論を重ねて、実効性のあ る核兵器の法的禁止を実現するよう 訴えました。

その後7月7日に被爆者や平和首長会 議をはじめとした市民社会の諸団体 の訴えが結実し、多くの賛同を得て核 兵器禁止条約が成立しました。



松井市長の演説■

# 長崎で開催された平和首長会議

29年8月に長崎市で開催された平和 首長会議には第9回総会に参加。同 会議会長である松井市長を中心とし て2020年までの平和首長会議行動 計画を策定しました。

29年11月、松井市長はヨーロッパへ出 張、イタリアにおいては議会からの招 待を受け下院議事堂において被爆の 実相と平和への取組について演説を 行いました。また、これに併せてバチカ ン市国を訪問しフランシスコ・ローマ法 王に謁見し被爆地への訪問を要請し ました。



総会終了後、地元の子供たちと交流

### ローマ法王に謁見 3.

ノーベル平和賞授賞式への出席

# 29年10月、ノーベル委

員会はICAN(核兵器

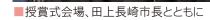
廃絶国際キャンペーン)が被爆者や市民社会の諸団体と共に核兵器の非人道性に対

する関心を高め、核兵器禁止条約の成立に貢 献した努力を認め、ICANに対してノーベル平 和賞を授賞することを発表した。

本件をうけて松井市長は29年12月10日ノル ウエー・オスロ市で開催されたノーベル平和賞 授賞式に田上長崎市長や被爆者の方々と出 席しました。被爆者や受賞者のICANと現地で 喜びを分かち合うとともに、核兵器禁止条約の 重要性や早期発効に向けて全ての国が条約 に署名・批准するよう訴えました。



授賞式会場■



# 29年11月「松井かずみを囲む会(勉強会)」における松井市長講演会の概要



「松井かずみを囲む会」(11月25 日)における松井市長講演につい て(1面関連)、その概要を掲載し ております。



■会場

# 目指すべき「まち」の

- この6年間を振り返って -

平成29年(2017年)11月25日(土)

# 1 目指すべき「まち」の姿

・広島のイメージ

(スポーツ王国、3Bの街・・・)

- •都市像「国際平和文化都市」
- ・世界に誇れる「まち」とは
- ・まちづくりの方向性

平和への思いの共有

(三つの柱を、「一石三鳥」で取り組む)



スポーツ・ 文化芸術の 振興

- ・第6回アジア体操競技選手権大会
- •FIVBワールドカップ2015
- ・都市型スポーツの世界大会FISE
- ・ジャパンウイメンズオープテニス2018
- ・2018ハンザクラスワールド広島大会
- ・威風堂々クラシック
- ・広島城二の丸の活用

# 被爆都市に課せられた"責務"

- ・人間は、本能的に、仲間ではない他者に対して警戒心を持つ
- ・国家も同様であり、他国が武力を持てば、その武力に対抗しようとする
- ・行き着く先が、家族たちが暮らす都市を丸ごと破壊する、核兵器の保有 (脅された側に、さらなる敵対心や警戒心が湧き上がることに・・・)
- ・国内であれば、法律というルールのもと、その悪循環を断つことができる
- ・三たび核兵器が使用されることがないよう、強固な国際ルールが必要

(その実現に向けて、被爆都市である本市にしか成しえない使命とは・・・)

# 2 「まち」の今

活力とにぎわい	都市機能 強化	・広島高速5号線 ・JR可部線電化延伸 ・白島新駅 ・ぴーすくる ・南口B・Cブロック再開発 ・広島駅自由通路 ・広島駅新幹線口広場 ・西風新都まちづくり
きわい	にぎわい 創出	<ul><li>・猿猴橋リニューアル</li><li>・京橋川「川の駅」</li><li>・各種観光プロモーション</li><li>・花と緑と音楽のおもてなし</li></ul>
	産業の振興	・広島湾七大海の幸
ワーク・ライフ・バランス	雇用促進	・有給長期インターンシップ
	保健・医療・ 福祉の充実	・地域包括ケアシステム ・高齢者いきいき活動ポイント事業
	未来を担う 子どもの育成	・ひろしま保育・介護人財サポート事業

平和への思いの共有	核兵器廃絶と 世界恒久平 和の実現	<ul><li>・平和首長会議</li><li>・オバマ大統領の来広</li><li>・核兵器禁止条約</li><li>・ICANのノーベル平和賞受賞</li></ul>
	迎える平和の 推進	<ul><li>・ローマ法王謁見(被爆地訪問要請)</li><li>・比治山公園「平和の丘」構想</li></ul>

# 3 広がる「まち」

•広島広域都市圏

(200万人広島都市圏構想)



# 後援会ニュース

# 「菜の花会」行事開催される(松井かずみ後援会・女性部会)



昨年度に発足し行事開催している、松井 かずみ後援会・女性は 会「菜の花会」では 29年春、皮切り行べる して「お花見クルーズを して「お花見クルーズを して「おさいとして を の宮にはイベント専に の事トランルージュれる 島電鉄)で運行される

「ビール電車」に乗車しての活動。29年秋には「広島城を水辺から眺める」のテーマのもと、スタートしたばかりの屋形船で広島城のお濠をめぐるイベントを実施しました。このように「菜の花会」では毎年数回の行事を企画実施しています。



ビール電車をバックに集合写真

# 松井一實(まついかずみ)プロフィール



■昭和28年(1953年)1月8日生 広島市東区牛田 出身

■学歴 広島市立牛田小学校、広島市立牛田中学校、広島市立基町高等学校、

京都大学法学部 卒業

主な経歴

昭和51年(1976年) 労働省入省、その後厚労大臣官房総務課長・統括審議官(国

際担当)ILO理事(政府代表)等歷任し、平成20年(2008年)中

央労働委員会事務局長

平成23年(2011年) 第36代広島市長就任

平成27年(2015年) 広島市長再選(二期目) 現在に至る

家族 妻、1男3女、孫6人

座右の銘 「温故知新」 趣味 コーラス(バス担当)、油絵、最近は書道

■好きな食べ物 お好み焼き(うどん派)



# 松井かずみ後援会 入会のご案内と、ご寄附について

松井かずみ後援会は松井かずみの政治活動を支援することを目的とする団体です。

よりよい広島市政の発展を願い、講演会・座談会・研修会等の開催や、関係諸団体との連携、会員相互の親睦を深める活動等を行います。

本後援会は、松井かずみを応援していただける個人の方なら入会いただけます。広島市を「世界に誇れるまち」にするため、今後とも全力投球できるよう多くの方々のご支援・ご協力をお願いいたします。

# ○後援会へのご寄附について(ご寄付は個人の方に限られています)

松井かずみの政治活動は、みなさまの「浄財」のみに支えられています。政治資金規正法では、政治家個人への寄附が認められておりません。代わって松井かずみ後接会(政治団体)が、皆様からお受けした、ご寄附や会費をもとに、松井かずみを支援してゆきます。この流れをご理解いただき、なにとぞ後接会へのご寄附、併せてご入会をよろしくお願いいたします。

## 【入会· 客附申认】

ご入会・ご寄附の申込手続きは後援会事務局(連絡先・下記)にお問い合わせください。

# 《編集後記》

会報第8号をお届けします。今回は、昨年度の後接会行事、松井市長の対外的な活動等を中心に掲載いたしました。 松井市長は本年4月で就任8年目(二期目の最終年度)となります。

就任7年間をふりかえると改めてその実績の多さに驚かされるとともに、今後も実行力のある市長の手腕に大いに期待を抱かされます。 今後も市長に多くの市政課題に取り組んでもらうため、後援会もしっかりと応援を続ける必要があります、皆様方のご支援、ご協力をよ ろしくお願いします。

松井かずみ後接会会報 第8号 発行年月 平成30年1月 松井かずみ後接会 会報編集室

# 松井かずみ後援会事務所

〒730-0806 広島市中区西十日市町10-12第3西十日市ビル303 E-Mail matsuikoenkai@ae.auone-net.jp Tel:082-233-2467 **Fax:082-233-2478**